

2022

令和4年

兵庫県議会自由民主党議員団

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1

TEL (078) 341-7711 (代)

FAX (078) 351-0772

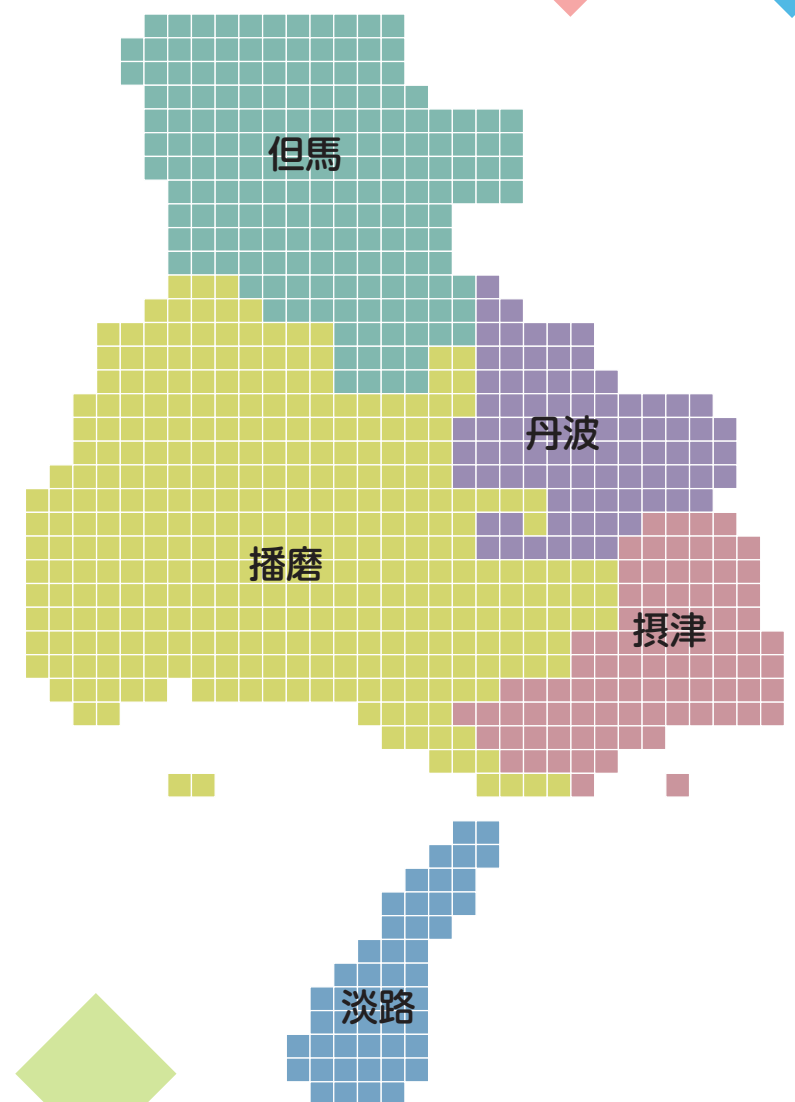
<http://www.jimin-kengi.org/>



夢あふれる兵庫

兵庫県議会自由民主党議員団

令和4年度(2022) 政務調査会活動方針



夢あふれる兵庫の実現へ 調査・研究

自由民主党議員団の“強み”

- 1 政策実現の為に議論を尽くし、
決定事項には全員一丸となって取り組む姿勢
- 2 国、県、市町との太く強固なネットワーク
- 3 地域や県民の各界各層に根ざした課題の共有
- 4 しなやかな発想とアグレッシブな活動

Contents 令和4年度 政務調査会活動方針 目次

- 3 政務調査会長・副会長
政務調査会部会
幹事長・副幹事長
- 4 夢あふれる兵庫
- 8 部会別 令和4年度重点項目・調査研究課題
 - 8 総務部会
 - 12 産業労働部会
 - 16 建設部会
 - 20 警察部会
 - 10 健康福祉部会
 - 14 農政環境部会
 - 18 文教部会
- 22 兵庫県議会自由民主党議員団紹介

政務調査会長・副会長

役職名	氏 名	政務分掌	担当部会等
会 長	北口 寛人	1. 政務調査会の総括に関すること 2. 政調理事会に関すること 3. 団の基本政策の立案に関すること	総 括
副会長	村岡 真夕子	1. 団執行部との連絡調整に関すること 2. 予算編成等知事申し入れに関すること 3. 政務調査会に係る文書審査及び他会派との連絡調整に関すること 4. 意見書、決議等に関すること 5. 県民の要望及び県の施策調整に関すること 6. 当局との連絡調整に関すること 7. 請願、陳情に関すること	総 務 農 政 環 境 建 設 特別調査会
副会長	かわべ 宣宏	1. 団の政策の広報に関すること 2. 各種団体及び業界に関すること 3. 政調理事会の管外調査に関すること 4. 請願、陳情に関すること 5. 団員の研修及び講演会の開催に関すること 6. 政務調査会の予算、決算及び会計に関すること	健 康 福 祉 産 業 労 働 文 教 警 察

正副部会長及び政策委員

部会名	正副部会長	政策委員
総 務 部 会	部 会 長：山 本 敏 信 副部会長：福 島 茂 利	水 田 裕一郎 吉 岡 たけし 長 瀬 たけし
健康福祉部会	部 会 長：大 前 はるよ 副部会長：松 井 重 樹	永 田 秀 一 春 名 哲 夫
産業労働部会	部 会 長：原 テツアキ 副部会長：富 山 恵 二	原 春 吉 三 夫 藤 原 昭 一
農政環境部会	部 会 長：藤 田 孝 夫 副部会長：門 間 雄 司	藤 原 昭 一 藤 本 百 男 浜 田 知 昭
建 設 部 会	部 会 長：黒 川 治 臣 副部会長：大 豊 康 臣	水 田 裕一郎 浜 田 知 昭 長 瀬 たけし
文 教 部 会	部 会 長：北 川 泰 寿 副部会長：関 口 正 人	永 田 秀 一 藤 本 百 男 小 西 隆 紀
警 察 部 会	部 会 長：長 岡 壯 壽 副部会長：松 本 裕 一	原 吉 三 小 西 隆 紀 吉 岡 たけし

幹事長（政調会長室とともに議員団総括）

幹 事 長：伊藤 傑 ▶ 総括
副幹事長：谷口 俊介 ▶ 議会運営委員会に関すること、他会派との折衝に関すること
団の会計、庶務、経理に関すること、当局との折衝に関すること
副幹事長：岡 つよし ▶ 政務調査会との連絡調整・党内調整に関すること、報道に関すること



村岡 真夕子 北口 寛人 かわべ 宣宏 岡 つよし 伊藤 傑 谷口 俊介

20年ぶりの知事交代を経て就任された斎藤知事が初めて編成した当初予算で臨む令和4年度が始まりました。我々兵庫県議会自由民主党議員団は、兵庫県政及び兵庫県議会にとっても歴史に残るこの大きな転換期において、時代の激しい変化を恐れず、自ら変化することをも辞さず、果敢に使命を果たさねばなりません。

世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症は、発生から2年以上が経過した今もなお完全に収束はしておらず、加えて、ロシアによるウクライナ侵攻等による不安定な国際経済情勢や円安の影響等により、原油価格・物価は高騰し、地域経済や県民生活に深刻な影響を与えています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と県民生活・経済活動の維持を両立して進めるためには、「ひょうごスタイル」（新しい生活様式）を定着・日常化させ、働き方や暮らし方、産業構造や経済活動のあり方等を見直すとともに、カーボンニュートラルやDX（デジタルトランスフォーメーション）等のSDGs（持続可能な開発目標）にも繋がる諸施策を積極的に展開し、ポストコロナ社会の実現に向けた新たな取組を構築していく必要があります。

県政の新たなステージを切り拓こうとする今、兵庫県議会自由民主党議員団は議員の高い専門性とネットワークに支えられた政策推進力を存分に発揮し、多岐にわたる県民のニーズを的確に捉え、SDGsに繋がるポストコロナ社会の実現など時代の変化を見据えた十分な議論と調査・研究を重ね、実効性ある政策提言を行うとともに、地域が持つポテンシャルや多様性を活かし、県民とともに「夢あふれる兵庫」の実現をめざします。

1

重点調査項目の設定

SDGsに繋がるポストコロナ社会を見据えた地方創生の取組が全国で本格化する中、地方自治体の政策の立案・遂行能力の向上が求められるに従って、地方議会の担う役割と責任もますます大きくなっています。

特に、責任政党である我が自由民主党議員団には、県民の負託に応え、兵庫の未来を創造していくという使命と期待を背負っています。そのため、議員団が一丸となり、大局的な視点に立った独自の政策研究・立案を主体的・能動的に行い、それらをもとに県政並びに県民生活に影響を及ぼす各般の政策課題を明確にし、迅速かつ適切な対応につなげる取組を積み重ねていきます。

新型コロナウイルス感染症対策やSDGsに繋がるポストコロナ社会実現に向けた諸施策等、特に重点的に取り組むべき諸課題については、重点調査項目として年間を通した調査活動を効果的に行い、成果を上げてまいります。そこで、今年度は次の6項目を設定します。

令和4年度重点調査項目

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症の総合的な対策の展開 | (4) 誰も取り残されない調和のある社会の構築 |
| (2) 兵庫五国の価値を高める地域創生の推進 | (5) 安心安全な県土づくりの実施 |
| (3) ポストコロナ社会の実現 | (6) 未来を切り拓く政策の研究と推進 |

(1) 新型コロナウイルス感染症の総合的な対策の展開

医療・検査・ワクチン接種体制の強化をはじめとした感染拡大防止対策や予防・治療薬の国内における研究の推進はもとより、コロナ危機収束を見据え、ウィズ・コロナの生活様式を研究・推進します。

新型コロナウイルス感染症によって深刻な影響を受けた地域経済や県民生活の再生をめざし、企業の事業継続支援や倒産防止、生活困窮者への支援、就労支援等の生活・経済対策を確実に実施します。

併せて、将来の感染症対策や保健所体制の再構築、地域の活力創出やコロナ危機を契機とした社会変革に向けた取組の強化など、兵庫県議会自由民主党議員団の総力を結集し、新型コロナウイルス感染症への総合的な対策を講じてまいります。

(2) 兵庫五国の価値を高める地域創生の推進

摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の兵庫五国の各地域の元気が、新時代の兵庫の活力を創ります。人口減少や少子高齢化という大きな構造変化が進展する中、我々はコロナ危機がもたらした地方回帰やDX等の社会変革、SDGsや大阪・関西万博2025といった時代の波を、各地域が持つブランドやポテンシャル、そして多様性を活かした地域創生の加速化を促し、地域に持続可能性をもたらし好機と捉え、元気な兵庫創りの礎にしなければなりません。

我が自由民主党議員団は、所属議員が兵庫五国すべての地域から多く選出されており、広く県下の事情に精通している強みがあります。

その強みを活かし、今を生きる我々が、持続可能な地域公共交通や教育機関・医療機関・行政サービス等への快適なアクセスを含め、後世に「ふるさと兵庫」を継承していくために何ができるのか、何をすべきなのか、についての方策や取組について積極的に提言等を行い、ポストコロナ社会に相応しい兵庫五国の地域創生を実現できるよう取り組みます。

(3) ポストコロナ社会の実現

兵庫の成長には、ポストコロナ社会の実現の中で、力強い兵庫経済の再生と成長を促すことが不可欠です。新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻等による不安定な国際経済情勢や円安の影響等により、県内事業者や生産者はかつて経験したことがない経営危機に直面しており、先行きが不透明な中であっても、地域経済や雇用を守っていく必要があります。

SDGs等の時代潮流や、兵庫DC（デスティネーションキャンペーン）、大阪・関西万博2025等を見据えた景気動向に対応しながら、産業・農林水産業・観光・教育・環境等の分野を牽引役に、兵庫の産業の元気と県民生活の豊かさの創出を着実に実現するため、議員団として積極的に協議や提言を行います。交流人口・関係人口の還流のうねりを作り出し、人・モノ・情報・投資をどうやって本県に呼び込み、広く県内に行き届かせるのかという課題についても最善の方策を検討していきます。

(4) 誰も取り残されない調和のある社会の構築

少子高齢化が進み、労働力人口の長期的な減少が見込まれる中で、来るべき人生100年時代において、県民が将来への希望を持ち、活力を保持しながら暮らしていくためには、高齢者はもちろん、子ども達、子育て世代、現役世代まで全ての世代が、性別・障害の有無・国籍等を理由に誰も取り残されることのない安心にアクセスできる社会、そして、あらゆる場で誰もが社会の担い手として参加し、一人ひとりが輝いて調和をもって活躍できる社会を築かねばなりません。

我が自由民主党議員団として、県内各地で県民一人ひとりの声をつぶさに聴き取り、「経済のパイ」拡大の成果を子育て・介護など社会保障分野に分配して、それをさらに成長につなげる「成長と分配の好循環」により、全員参加型の県民総活躍社会の実現を目指します。

(5) 安心安全な県土づくりの実施

年々、激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、防災先進県として「県民の命を一人も失わせない」という決意のもと、感染症と連動した複合災害も含めた災害対策に全力を傾けねばなりません。あらゆる自然災害に際して、道路や河川・港湾施設、治山施設等の社会資本整備や医療などの生活インフラが、県民の生命と財産、経済・生活を守り、支えることができるよう、その機能充実を目指します。

併せて、事前防災・減災・縮災対策、ICT活用による災害情報の共有や伝達機能の更なる強化、住民の避難対応の迅速化など自助・共助意識の向上や防災人材の育成などを推進していきます。

また、特殊詐欺やサイバー攻撃等の犯罪抑止や、交通安全対策の充実強化にも取り組んでまいります。



(6) 未来を切り拓く政策の研究と推進

本県の財政状況は依然として厳しい中、新型コロナウイルス感染症や不安定な国際経済情勢等の影響により、経済・県民生活への不安感が一層高まっています。そのような状況の中であっても安定的な行財政基盤の確立を図るため、新たに定められた「県政改革方針」が実のある改革になるよう、一丸となって不断の改革を支えていきます。

また、時代の要請に適合しなくなった県独自規制などの見直しや県民サービスの向上に繋がる行政手続の簡素化などの規制改革も進め、「ひょうごビジョン2050」で示された兵庫の目指すべき姿の実現を目指し、政策の研究を深めてまいります。

そして、未来志向で県民に開かれた兵庫県議会をめざし、我が兵庫県議会自由民主党議員団が先頭に立って先進的な取組を推進してまいります。

2 広報活動の充実

二元代表制の一翼を担う県議会の活動を積極的に発信することは、県政・県議会への関心を高め、県民の参画と協働を促し、健全な民主主義の確保の基盤を支えます。我が自由民主党議員団の議会・政務活動における説明責任を果たし、透明性の高い県政・議会運営と「県民に開かれた県議会」の実現に寄与するため、効果的で効率的な広報活動を積極的に展開します。

具体的には、政務調査会の活動を踏まえつつ、政務調査会活動方針の積極的な配布やSNS、YouTube（兵庫県議会自由民主党議員団チャンネル）等の広報媒体を活用しながら、県議団の各事案への考え方を広報致します。我が議員団が真摯に県政に取り組む姿勢を広く県民にアピールするなど、広報活動の更なる充実強化を図ります。

3 県民とともに歩む活動の展開

(1) 兵庫五国のそれぞれが抱える地域課題への的確な対応

各地域の県民が日々の生活の中で感じる身近な要望を把握し、それらを着実に県政へとつないでいくことは、重要な使命であります。その使命を果たす上で、兵庫五国すべての地域から選出されている議員で構成される我が自由民主党議員団が有する多様性とネットワークは、県土の均衡ある発展に寄与できる

独自の強みです。

今後とも、我が自由民主党議員団への県民各層の信頼をより一層高め、確固たる責任政党として引き続き県政をリードしていくためには、着実に成果を上げていかなければなりません。

そのためにも、県内各地域の諸課題を的確に把握し、その解決に向けた調査研究や政策立案を行うとともに、SDGsに繋がるポストコロナ社会や大阪・関西万博2025を見据え、第二期兵庫県地域創生戦略に基づく実効性のある取組や設定された地域プロジェクトモデルの展開等により、地域課題への的確な対応に全力を尽くします。

(2) 友好団体との連携強化

我が自由民主党議員団は、県内各地、各界に多数の各種友好団体を有し、これら団体との緊密な連携協力のもと、今日の信頼ある地位を築いてきました。

各種団体は、それぞれ関連する地域・分野において、県民の間近で地域経済や県民の生活環境・ニーズ等を緻密に把握している重要な存在です。

こうした団体との相互理解をこれまで以上に真摯な態度で図ることに努め、真に汲み取るべき要望を的確に施策に反映させて県民生活の福祉向上につなげ、県民の負託に応えていきます。

部会活動の充実強化

我が自由民主党議員団の掲げる理念や政策を県政で着実に実現させるため、政務調査会の下に設置した部会ごとに調査研究活動を精力的に実施してまいります。

各部会において、当局幹部との意見交換会を実施するなど緊密な連携も図りつつ、令和4年度当初予算編成に係る知事申し入れ事項や本会議などで提案した事案等の実現に向けた進捗状況の確認と研究活動のほか、重要施策や各種行政計画の実施状況の把握等を行い、県当局の行政運営に対する監視及び評価機能を発揮していきます。また、県政課題の各種調査活動、議会活動に必要な議員スキルアップ研修活動なども充実いたします。

こうした部会活動の充実強化により得られた知見や成果等を議員団内で共有して、知事申し入れ、代表・一般質問、予算・決算等の特別委員会での質問、意見書、国への要望活動等にも反映するとともに、議員一人一人にフィードバックして、議員個人および議員団全体の政策立案能力の向上につなげてまいります。



部会別の調査研究課題

各般にわたる県政課題に対処するためには、各部会が所管する事項について、それぞれ調査研究課題を設定した上で、県内各地で地域に根ざした活動を展開している議員と政務調査会とが十分な連携を取りながら、一体となって調査研究に取り組み、その結果を活用していくことが不可欠です。

そこで、部会ごとの調査研究課題を設定し、本会議や委員会での質問、予算申し入れ等での具体化に向け、計画的で積極的な取組を進めていきます。

部会別の調査研究課題は、次頁以降に示します。

01

総務部会

ポストコロナ社会の実現、地域創生の推進、
県政改革の推進、災害等への備え、そして
元気で安全安心なふるさと兵庫の実現

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と国民生活・経済活動を両立して進めるためには、ポストコロナ社会の実現に向けた新たな取組を進めていく必要があります。阪神・淡路大震災を乗り越えた兵庫だからこそ、本県の強みであるそれぞれの地域の歴史・伝統・文化を大切にしながら、多彩な県土を活かした未来社会の基盤を形成する取組を一層加速化させ、ポストコロナ社会の実現を図ります。

また、地域が活力をもって自立し、県民が将来への希望を持てる兵庫の実現に向け、新たな地域づくりや地域創生の取組を推進していきます。

令和4年度重点項目

1. ポストコロナ社会に向けた政策の推進

新型コロナウイルス感染症対策により、社会、経済、雇用、経営、教育等、ありとあらゆる分野で、大きな変革がもたらされています。このコロナ危機を契機として、人々の活動の中から今後必要となる動きを抽出し、民間の手法も取り入れながらポストコロナ社会に対応する政策を推進します。

2. 兵庫五国の「地域創生」の実現

「地域の元気づくり」を推進することにより、県内への移住・定住・還流に取り組み、活力ある兵庫を目指すとともに、日本遺産をはじめ文化財などの保存・活用及び人々の交流を進めるなど、兵庫五国の多様性を活かした地域創生の実現に取り組みます。

総務部会調査研究課題

1. 元気なふるさと兵庫の実現

- 「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念を県政課題に活かしつつ、持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない社会の実現に向けた施策を積極的に推進する。
- スマートシティの推進などICTを活用したデジタ

ル化により地域課題の解決の一助となるように取り組む。

- 多自然地域の再生や、参画と協働に基づく魅力あるふるさとづくりを推進する。
- 芸術文化立県“ひょうご”をめざし、既存施設の更なる活性化を図る。
- 2025大阪・関西万博を契機とした兵庫の活性化に向けた施策を推進する。
- コロナ対応をはじめとする県の方針や様々な施策について、多様な広報媒体を的確に活用し、県民にわかりやすい効果的な情報発信に努める。

2. 県政改革の着実な推進

- これまでの行革の取組の成果だけでなく民間等の視点も生かしながら、更なる県の行財政全般にわたる改革を推進することで、時代の変化や県民の要請に的確に対応できる持続可能な行財政基盤を確立する。
- 県政改革を着実に実行し、県民と共にめざす「ひょうごビジョン2050」の実現に向けた新しい時代の県政を推進する。
- ICT活用等による業務の効率化や民間の手法を導入するなど、旧来の慣例・慣習による仕事を見直し、職員の意識改革を行うことで、新たに生み出した時間を創造的な政策立案に充てるなど、職員の働き方改革を推進する。



3. 地方分権改革の推進

- 県独自規制等の見直しや県民サービス向上につながる行政手続きの簡素化などの規制改革を推進するとともに、県から市町に対する分権を推進する。
- 県及び市町がそれぞれの役割や機能を果たしながら連携を一層密にし、相互に効率的、効果的な施策展開を図る。
- 国から地方への事務・権限の委譲や地方税財政の充実強化等について、国等への働きかけを行う。
- 関西の府県域を越える広域的な課題に対応するため、関西広域連合による広域行政を推進するとともに、東京一極集中を是正し、関西復興への取組を加速させる。

4. 安全な県民生活の確保

- 南海トラフ地震や多発する台風などの自然災害や、新型コロナウイルス感染症と自然災害との「複合災害」への備えについて、管理体制や対応力の充実強化を図る。
- 地域主体の安全で安心なまちづくり活動や、自転車の交通安全、高齢運転者の事故防止対策など交通安全対策を推進する。
- 水素エネルギーなど、県民生活や産業活動を支えるクリーンで経済的な次世代エネルギーの開発促進を図る。
- 不当表示対策や高齢者への特殊詐欺の被害防止対策等により、安全安心な消費生活を推進する。
- 罪を犯した人等の立ち直りや社会復帰支援による再犯防止を推進し、犯罪の少ない安全で快適な暮らしの実現に取り組む。

5. 男女共同参画計画の着実な推進

- 「ひょうご男女いきいきプラン2025」に基づき、男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる「男女共同参画社会」の実現を目指す。
- 安心して子供を生み育てられる社会の実現に向けた取組など家庭と子育て対策を推進する。

6. 青少年の健全育成の推進

- インターネット利用対策、非行防止対策と合わせて、地域、学校、保護者等が連携した青少年を守り育てる取組を推進するとともに、ひきこもりの相談や支援策の充実を図る。

7. 人権啓発施策の推進

- 多様化する人権課題に対応した啓発活動で、速やかな相談・救済を推進する。

8. 県庁舎等再整備に向けた調査・検討

- 耐震性能が不足している県庁舎の再整備と、三宮都心部の再整備に連携して周辺の元町山手地区のまちづくりについても、ポストコロナ社会を見据え、早急に調査・検討を行う。

9. その他総務部会に関する事項

02

健康福祉部会

ストップ少子化、
人生100年時代を見据えた、
健康福祉充実県「ひょうご」の実現

少子高齢化にくわえ人口減少が進むなか、県民が将来にわたり健康でいきいきとした生活を送るためには、保健・医療・福祉・子育てが連携する総合的なシステムを構築することが急務です。地域医療構想を推進し医師不足解消への邁進、より良質な医療提供への探求、安心してかけられる医療施設充実に向け整備を促進するとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に備え、医療・検査体制を整えてまいります。

また、心身の健康づくりや高齢者福祉施策の総合的推進、障がい者のくらしや自立支援のほか、子育て支援環境の整備、さらには、家庭・地域・職域・教育を問わず、あらゆる場面でのヤングケアラー・いじめ問題など、子供の健やかな育ちを支える取組を一層推進していきます。

もちろん、「食」の安全・安心に対する取り組みや、対がん戦略、自殺予防への対策なども、総合的に推進します。

令和4年度重点項目

1. 子供・子育て支援の充実

子育て世帯への経済的支援や、周産期医療体制を維持強化することにより、多子型の出産・子育てを楽しめる環境づくりを推進していきます。

そして、子育てに携わるあらゆる人たちが子供とともに成長し充実した生活を送れるよう、在宅児童への体験保育・保護者への子育て学習の機会提供、子育て支援サービスの充実などにより、子供・子育てに対し一層の支援に努めます。

児童虐待の相談件数が増加し、内容が複雑化、多様化していることから、里親等社会的養護の充実とともに、関連機関との連携をさらに強化します。

また、思いがけない妊娠や望まない妊娠により悩みを抱えた妊産婦のための相談支援体制の強化、子育てのための自立支援など「誰も取り残さない」兵庫の子育て支援体制を官民連携で実現します。

2. 社会福祉基盤の充実と地域福祉力の向上

市町の地域包括支援センターや地域ケア会議

の機能を強化し、高齢者の保健事業にくわえ、介護予防が一体的に実施されるよう推進し、地域住民のニーズを踏まえた地域貢献活動を行う「地域サポート施設」が拡充されるよう取り組むとともに、介護に係わる人材不足解消に向けて対策を進めていきます。

障がい者については、就労の場の確保やスポーツ・芸術文化活動の振興などを通じ、社会参加を促進することに加え、「親亡き後」も地域で自立した生活を送れるよう、ノーリフトの普及啓発、相談窓口や助言体制が充実していくよう取り組みます。

また、障がい児の将来の可能性を広げるためには、早期の療育開始が重要です。精度の高い検査機器の導入支援や利用者負担のさらなる軽減など、早期に課題を発見し、必要な療育を受けられる環境整備に取り組みます。

3. 医療確保と健康づくり

「兵庫県保健医療計画」に基づき、個々に必要な医療が当該地で受けられるよう、医師等医療人材が確保され、医療提供体制が充足されるよう努めます。

また、生活習慣病の予防、歯と口腔の健康づく



春名哲夫 委員

松井重樹 副会長

大前はるよ 部会長

永田秀一 委員

り、受動喫煙対策の推進、県民の健康づくりの推進、健康寿命の延伸を図っていきます。

認知症に対しては、社会の理解を広め、予防や早期受診・早期発見・早期対応を促進し、症状にあわせた適切な医療が提供される総合的な支援体制を構築していきます。

健康福祉調査研究課題

1. 感染症等疾病対策の推進

- 新型コロナウイルスワクチンの迅速な接種、感染予防やまん延防止、医療体制の確保など各感染症に応じた対策を徹底・強化する。
- がん対策推進条例に基づき、予防、がん検診の受診率向上による早期発見、事業者への理解促進、医療体制の充実、ターミナルケアにわたる総合的ながん対策を推進する。

2. DV 防止対策、「誰一人取り残さない」妊娠・子育て支援の推進

- 感染防止に配慮した相談支援体制を強化し、市町や民間支援団体等と連携し、DV被害者の保護や自立支援対策を推進するとともに、DV防止の普及を促進する。
- 思いがけない妊娠、望まない妊娠により悩みを抱えた妊産婦の相談支援体制の強化、子育てのための自立支援など、官民連携で支援体制を構築する。

3. 介護保険制度の推進

- 地域実態に応じた介護保険施設等の整備促進や在宅介護サービスの拡大に取り組む。

- 介護人材確保、介護現場の生産性向上対策を推進する。

4. 自殺防止対策の推進

- 相談体制の充実やうつ病対策の強化など、困窮する妊婦も含め総合的な心のケア対策を推進する。

5. 社会福祉基盤の充実と安定化

- 介護・福祉に係る専門人材の充実に向け、処遇改善等も含めた養成・確保及び資質向上対策を推進する。
- 聴覚障害をはじめとする障害の早期発見、療育開始のできる環境整備に取り組み、障がい者や高齢者の介助・支援、子育て支援に配慮が行き届く社会づくりを推進する。
- 生活保護制度の適正な運用、生活保護に至る前の生活困窮者の自立支援対策を推進する。

6. 医薬品等の安全対策の推進

- 製造者や薬局等への監視・指導の徹底、危険ドラッグ等の指導取締りや啓発活動を推進する。

7. 生活衛生の推進

- HACCPに基づく衛生管理の推進など「食」の安全安心確保対策を推進する。
- 動物愛護思想の高揚や犬・猫の譲渡、適正飼養の啓発などの取組を推進する。

8. その他健康福祉部会に関する事項

03

産業労働部会

ポストコロナ社会を見据え、
新たな社会構造にマッチした
産業・雇用を支える県政の推進

新型コロナウイルス感染症対策はワクチンと治療薬を活用し、社会経済活動と両立を積極的に行う施策の推進を図っていきます。

地域経済と雇用を支える中小企業、小規模事業者に対して適宜・適格な総合的な支援により地域産業の振興を推進し、地域経済全体の復活、多様で安定した雇用就業の実現に取り組みます。

また、SDGsの視点を踏まえながらスタートアップ事業や、医療・航空機等の先端技術分野の成長産業の育成を促進するほか、関西大阪万博を契機に持続的な観光・ツーリズム産業の回復・振興を目指します。

令和4年度重点項目

1. 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者や個人事業主への支援

感染拡大に伴う経済活動の縮小における、雇用の維持や事業継続のための助成金や資金繰りへの支援・融資枠のさらなる拡大、さらには早期の経済回復のための事業実施への支援など、状況に応じ迅速に取り組みます。

2. 優れた技術や製品等の高付加価値による地域産業の競争力向上

特色ある技術やアイデアを持つ「オンリーワン企業」の育成、高い技術力や伝統技術を持つ「地場産業」の振興や、テレワークなどICTを活用した働き方改革の推進等に取り組むほか、これらを下支えることで、「IT関連産業」の振興を図ります。

3. 地域を支えるものづくり産業・地場産業とサービス産業の活性化

中小企業・小規模事業者の経営力強化と新事業展開、事業承継を促進するとともに、魅力ある商店街づくりの支援など、地域産業の活性化を図る。

4. 兵庫の多彩な資源を生かした観光産業の回復と振興

宿泊・交通・物販・飲食などコロナ禍で打撃を受けた観光産業の回復と振興のため総合的な支援を行います。

さらに、万博を見据え、訪日旅行者の受入体制を整備し、県内空港・瀬戸内海ベイエリアの水上交通を活用した観光客誘致、新たな周遊ルートの開発など戦略的・効果的なインバウンド対策を展開し、きめ細かな情報発信を推進します。

また、JR西日本等と連携した「兵庫ディスティネーションキャンペーン」や、ひょうご観光本部と連携し、地域資源を再発掘し多彩な自然や歴史・文化、ものづくりなどを体感する体験ツーリズムなど兵庫の地域資源の魅力発信を展開します。

産業労働部会調査研究課題

1. 個人事業者、中小・大企業支援策の在り方の研究

2. 景気動向に大きく左右される雇用環境への研究

3. AI・IoT・データ産業革命に対応した人材育成の研究



春名哲夫 委員

富山恵二 副部会長

原テツアキ 部会長

藤原昭一 委員

4. 不安定化する国際社会によりグローバル経済の見直しに伴う国内への生産回帰の流れを本県に取り込むための研究

●ロックダウン等による部品の調達・円安等不安定な要素による影響を注視します。

5. ポストコロナにおける事業継続計画（BCP）策定の推進についての研究

6. 工事や役務などの官公需に対する県内中小企業者の受注機会確保の推進

7. 商工会議所、商工会、商店連合会、市場連合会等への支援施策の充実

●特に商工会の経営指導員の支援の充実を図ります。

8. 不安定化する国際社会での本県の海外事務所や国際交流の在り方の研究

9. ものづくり兵庫や第二次産業における女性活躍の場を拡大するため、女子の県内各大学理系学部入学の機運を高める研究

10. その他産業労働部会に関する事項



04

農政環境部会

ひょうごの多様性と都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

農林水産業は、県民の食とくらしの礎であり、食料の安定供給や地域創生実現に向けた地域活性化の要として重要な産業です。ポストコロナ社会を見据え、兵庫の豊かな食を国内外へ提供する「御食国ひょうご」の実現をめざして、都市近郊の立地を活かし、地域の経済と雇用を支える農林水産業の基幹産業化を推進するとともに、農業・農村や森林の多面的機能を高める整備やひょうご五国の特徴ある多自然地域の維持・活性化を図ります。

また、持続可能な社会の実現を目指すため、地球温暖化の防止や循環型社会の構築、人と動植物が共存し豊かな自然を守り育てる取組を展開するなど、各主体の参画と協働による環境保全・創造活動を促進します。

令和4年度重点項目

1. 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

スマート化による効率化、産品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャンネルの多様化、海外市場の開拓等により、基幹産業として持続的に発展する農林水産業を目指します。

【農業】

都市近郊の立地を活かし、野菜等園芸作物の生産拡大や、山田錦やコウノトリ米など土地利用型作物（米・麦・大豆）の生産力・ブランド力強化に取り組むとともに、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進による次代を担う担い手の育成、農地の集積・集約化等を進め、人と環境にやさしい環境創造型農業の推進など、実需と結びついた競争力の高い農業を目指します。

【畜産業】

但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳生産の増産等を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化を図ります。

【林業】

「県産木材の利用促進に関する条例」に基づき、県産木材の利用に関する施策を一層推進するとともに、県産木材の経済的価値を高めます。建

築用として、公共施設等の木造化・木質化の推進、木造住宅の建築促進、CLT建築物の整備支援を行うとともに、燃料用として、木質バイオマス発電向け未利用木材の安定供給を図り、県産木材の利用を促進します。

また、林業の担い手の確保・育成と能力向上により、林業の収益性の向上を図るとともに、植林・保育・伐採・利用の林業生産サイクルが実現する資源循環型林業の構築を目指します。

【水産業】

令和4年11月の全国豊かな海づくり兵庫大会開催等を通じた県民総参加で豊かな海づくりに取り組む機運の醸成や、適正な栄養塩管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業の確立を目指します。

2. 地球温暖化対策の強化

令和3年11月に「兵庫県地球温暖化対策推進計画」を改訂し、温室効果ガス削減目標を強化することで、再生可能エネルギーの導入拡大をはじめ、温暖化からひょうごを守る適応策を一層推進します。

3. 人と動植物の共生と豊かな自然の保全

「生物多様性ひょうご戦略」に基づき、自然環境を良好に保ち、多様な生物が共存し、豊かな生態系を保つ施策を推進します。また、イノシシやシ



カ等の野生鳥獣の被害防止総合対策を推進するとともに、さまざまな担い手による里池、里山、里海の再生を図ります。

農政環境部会調査研究課題

1. 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

- それぞれの県産品が持つ優位性（魅力）を明確にし、JRディスティネーションキャンペーンと連携したプロモーションを行うなど、国内・海外市場をターゲットに流通・販売の拡大を図る。
- 令和5年10月から導入されるインボイス制度について、地域農産物ブランドを支える小規模事業者を対象とした特例の創設など、支援策の調査・検討を行う。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減退している農林水産物等の販売促進、需要喚起を推進するとともに、食料自給のあり方など、ポストコロナ社会を見据えた取組の調査・検討を行う。

2. スマート化による新しい農林水産業の実現

- センシング技術やICT等の先端技術を活用し、省力化や労働環境改善、高品質生産等を可能にする新たな農林水産業を目指す。

3. 活力ある農村（むら）づくりの推進

- 集落のコミュニティ維持・活性化と、野菜等園芸作物への転換、地域産物の活用・高付加価値化による雇用・所得の拡大、農村の防災・減災対策及び野生動物の管理や被害対策、ジビエの利用拡大を推進する。

4. 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

- 「農」への積極的な関わりを推進するとともに、「農」を支える交流・定住の促進や、健やかな食の継承と地域の特色を生かした新たな食文化の創造を進める。

5. 森林の多面的機能の維持・向上

- 森林環境譲与税を活用して市町が実施する森林の整備・管理や木材の利用促進を県が総合的に支援するとともに、豊かで災害に強い森づくりを推進する。

6. 天然資源の使用を低減

- 食品廃棄物やプラスチックごみをはじめとした廃棄物の発生抑制と再利用・再生利用による資源循環の推進や、産業廃棄物の適正処理を推進する。

7. 水や空気のきれいな安全・快適空間の創出

- 大気環境の保全を図るため、次世代自動車の普及促進等を図るとともに、国・市町・事業者等と連携し、水・土壌環境の保全、有害化学物質対策を推進する。

8. あらゆる主体との協働による環境保全・創造

- 持続可能な社会の実現をめざす人づくりを推進するとともに、環境学習・教育の総合的推進を図る。

9. 地籍調査の促進

10. その他農政環境部会に関する事項

元気で安全・安心な兵庫の基盤づくり
～次世代へつなぐ社会基盤づくりと
賑わいあるまちづくりの推進～

私たちのふるさと兵庫県は、多様な気候と風土に育まれた個性豊かな地域によって成り立っています。人口減少・少子高齢化社会の本格到来や、甚大な被害をもたらす台風・豪雨の頻発、南海トラフ地震をはじめとした災害意識の高まりなど、近年のまちづくりを取り巻く状況変化の中で、県民が心豊かに生活し、それぞれの地域が活力を生み出していくためには、地域の安全・安心の確保や地域の発展に必要な道路や河川、港湾等の社会基盤の着実な整備、社会基盤ストックの適切な維持管理が重要です。

また、コロナ禍を機に働き方などが変化している状況を踏まえ、東京など大都市への一極集中型社会からの地方への流れを加速させ、ポストコロナ社会を先導するまちづくりを推進していく必要があります。

令和4年度重点項目

1. 備える

「津波防災インフラ整備計画」及び「日本海津波防災インフラ整備計画」に基づき、防潮堤等の沈下対策や防潮水門の整備など緊急かつ重要な津波対策を推進するとともに、「ひょうご道路防災推進10箇年計画」に基づき、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響の大きい道路の橋梁耐震補強や法面防災対策を推進します。

また、「河川対策アクションプログラム」に基づく河川改修等の事前防災対策や、「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づく高潮対策等による総合的な治水対策を推進するとともに、「第4次山地防災・土砂災害対策計画」に基づく砂防えん堤整備等の土砂災害対策を推進します。

ソフト対策として、河川氾濫予測システム等の警戒避難活動に役立つ予測システムの構築・活用や、河川ライブカメラ画像の配信の拡充など減災のための情報発信を進めます。

2. 支える・つなぐ

地域の交流を支える幹線道路の整備や、渋滞交差点や問題踏切解消に向けた取り組み、歩行者・自転車の快適な通行空間の確保等、日々の暮らしを支える生活道路の渋滞対策や通学路対策を推進します。

「ひょうご公共交通10カ年計画」に基づく鉄道の利便性向上・利用促進、路線バス等の維持・確保など、県民の移動を支える公共交通の維持・活

性を促進します。

また、新しい東西交通軸となる播磨臨海地域道路や名神湾岸連絡線など、県全体の発展基盤となる基幹道路八連携軸を構成する基幹道路ネットワークの充実強化を目指した高規格幹線道路等の整備や、スマートインターチェンジ等による高速道路の利便性向上を図るとともに、大阪湾ベイエリア活性化にもつながる港湾施設の整備・機能強化の推進や利用促進、関西3空港の最大活用やコウノトリ但馬空港の利活用促進に取り組みます。

「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」に基づく施設点検、修繕・更新等の計画的・効率的な老朽化対策を推進します。

3. 住みよいまちづくり

日射、雨水、生態系を活用したグリーンインフラの整備計画、実施を促進します。

「兵庫県無電柱化推進計画」に基づき、防災機能の強化・向上、安全で安心な歩行者・自転車通行空間の確保、良好な景観形成等を目的として無電柱化を推進します。

また、「ひょうご県営住宅整備・管理計画」に基づき、適切な県営住宅の整備・管理を推進するほか、多数の区分所有者が居住し管理面・大規模修繕等の問題が発生している分譲マンションについて、居住者に対するマンション管理基礎セミナーの開催など、分譲マンション適正化の施策を推進します。

さらに、家族の支え合いを推進するために三世代同居のリフォームを推進するとともに都市部における低炭素化に資する建築物の認定制度により、都市の低炭素化の促進を図ります。



建設部会調査研究課題

1. ポストコロナ社会への変化に対応した推進方策

- 超高速通信基盤を整備し、AIやビックデータなど先端技術を活用したリモートワークや自動運転、遠隔診療等の安全安心で快適性や利便性の高い社会サービスを提供する「スマートシティ」の実現をめざす。
- 利用者のニーズに合わせて弾力的に運行できるデマンド型交通の普及や、ICT技術を活用し複数の移動手段を一連のサービスとして検索・予約・決済まで一括して行うMaaSの導入促進等により、誰もが安心・安全・便利に利用できるシームレスな移動環境の実現をめざす。

2. 安全・安心のまちづくり

- 近年の豪雨等の被害をふまえ、最新の科学的知見も取り入れながら、総合治水対策・高潮対策を確実に進めるとともに、イエロー・レッド区域の周知及び避難対策を支援する。
- 社会基盤ストックの高質な管理水準を維持するための民間ノウハウや新技術の導入等を促進し、良好な社会基盤の維持管理を推進する。
- 住まいをはじめとする民間・公共建築物の耐震化を推進するとともに、土砂災害特別警戒区域内の住宅改修等への支援を進める。
- 高齢者や障害者の安全性向上を図るため、駅舎へのエレベーターやホームドアの設置、更にノンステップバスの導入など、公共交通のバリアフリー化を支援する。

3. 環境と調和したまちづくり

- 県民緑税を活用して県民の緑化活動意識の高揚を図り、地域環境を向上させる。
- 長期優良住宅や低炭素建築物の普及促進など、カーボンニュートラルを目指すまちづくりを

推進する。

- 公共建築物や利用頻度の高い建築物の木造化・木質化の環境性能や機能を具体化し計画的に実施する。
- リノベーション計画に基づき、老朽化した公園施設の更新等に取り組むとともに、民間の優れたノウハウと投資を呼び込む新たなパークマネジメントを導入することで、県立都市公園の利活用を推進する。

4. 魅力と活力のあるまちづくり

- 地域分散型、ポストコロナ社会などの社会変化の実情に合わせた地域を活性化する仕組みづくりとしての都市計画の在り方を検討する。
- 住宅ストックの有効活用や地域の活性化を促進するため、県・市町・民間事業者が連携し、空き家の発生予防、利活用、除却を含めた適正管理など総合的かつ計画的な空き家対策を推進する。
- 安心、安全で良質な既存住宅の流通を促進するため、インスペクション（建物状況調査）の実施及び普及活動を支援するとともに、一定の基準を満たすものについて、「ひょうごあんしん既存住宅」として普及を推進する。

5. 地域の自立と連携によるまちづくり

- 住民の高齢化と建物の老朽化が進むオールドニュータウン再生に向けた取組支援や、リノベーションによる都市住環境の改善、多自然居住・多地域居住の推進、空き家活用や古民家再生の取組を通して、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。
- 歴史的建造物や景観を活かしたまちの集客力の強化を図る。

6. その他建設部会に関する事項

06

文教部会

個性と能力を伸ばし、
未来への道を切り拓く
力を育む教育の推進

社会情勢の変化に伴う様々な課題に対応する「新学習指導要領」及び第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」に沿って、兵庫らしい教育を展開し、次代を担う人づくりに取り組んでいきます。

令和4年度重点項目

1. 「新学習指導要領」及び第3期「ひょうご教育創造プラン」に基づいた教育の推進

新学習指導要領の本格実施を踏まえ、第3期「ひょうご教育創造プラン」の基本理念に基づいた教育の実現に向けた取組の推進並びに市町教育委員会への指導・支援を通してプランの浸透を図ります。また、タブレット端末やデジタル教科書のさらなる充実など、ICT環境を効果的に活用し、学習活動の充実や法改正による35人学級編成の段階的導入に取り組めます。

2. ふるさと兵庫の未来を支える人材の育成

若者の地域への定着に向けて、キャリア教育とふるさと意識の醸成を推進します。また、未来を創造する力を備えた人材を育成するため、文理を横断した複眼的視野により創造力や課題解決能力を高めるSTEAM教育（文理融合型教育）を展開します。

3. 子供たちの学びを支える環境の充実

学校の組織力及び教職員の資質能力向上に取り組む、安全・安心な学校環境の整備や、家庭や地域全体で子供を育てる環境づくりを推進します。また、「県立高等学校教育改革第三次実施計画」に基づき、五国にふさわしい適正規模や配置等を進めます。

文教部会調査研究課題

1. 自立して未来に挑戦する子供たちの育成

- 世界と日本の歴史の理解を深め、日本人としての誇りを培い、グローバル化に対応した、国際的に活躍できる人材の育成を図る。
- 伝統と文化の尊重、郷土や国を愛する態度を涵養し、生命を尊重する心と規範意識を醸成するなど、さらなる道德教育の充実を図る。
- 国旗・国歌を正しく理解する教育に取り組む、校内における適切な国旗の掲揚とともに、式典等で国歌が斉唱できる指導を図る。
- 人権教育として、拉致問題等の風化を防ぐ教育に取り組む。
- 主権を有する国民としての自覚と責任を育む18歳有権者教育の推進と学校教育の政治的中立性の確保を図る。

2. 「生きる力」を育む教育の推進

- 「ひょうご学力向上推進プロジェクト」、「兵庫型学習システム」、「ひょうご学力向上研究事業」等により、総合的な学力向上対策の充実を図る。
- コミュニケーションや感性・情緒の基盤となる「ことばの力」の重点的な育成と、科学的な見方・考え方を育成する理数教育の充実を図る。
- 地域の農林水産物を使った学校給食など、教育活動を通じた食育の推進を図る。
- 児童生徒の体力・運動能力の向上を図る施策の推進と部活動等における健康指導の充実強化



- を図る。
- インクルーシブ教育システムの構築と、日常的に医療的ケアを必要とする幼児児童生徒の教育の充実を図る。
- 幼児教育の重要性を認識し、幼稚園、保育所、認定こども園における教育の一層の推進を図る。
- 個性化・特色化、効率的な大学運営に取り組み、学生や研究者による海外との積極的な交流や先端研究を行うなど、社会から評価される魅力ある県立大学づくりを推進する。
- 芸術文化観光専門職大学について、大学の特色を生かした教育・研究活動を推進し、多様な主体との協働で地域課題の解決の推進に取り組む。
- 小中一貫教育の実施による効果、現場における課題を検証する。

3. 子供たちの学びを支える環境の充実

- 学校長のリーダーシップによる学校運営や、主幹教諭制度運用と研修の充実で教職員の資質能力の向上、教職員間のハラスメント対策など、風通しがよい信頼される学校づくりの推進とメンタルヘルス対策の充実を図る。
- いじめや不登校等の問題行動の対応強化に向けた「学校問題サポートチーム」の設置や心のケアを含む対策等の充実強化を図る。
- 教育現場にICT技術をさらに取り入れ、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな指導・支援や、多様な人々と学び合う学習など、学びの質の向上を図る。
- 公教育の一翼を担う私立学校教育の充実支援と各種学校に対する適切な補助金制度の充実

に取り組む。

- コミュニティ・スクールや部活動など、学校と地域が一体となって連携・協働する仕組みを推進する。

4. 人生100年を通じた学びの推進

- 県立考古博物館や歴史博物館における展示内容の中立性に努め、社会教育施設の整備充実や活用促進と日本古来の伝統芸能文化の振興や後継者を育成する。
- 競技力向上に向けたアスリートの育成、神戸マラソンの開催等による生涯スポーツ、競技スポーツ及び障害者スポーツの振興を図り、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりと、延期された「ワールドマスターズゲームズ関西」開催へ機運の醸成を継続する。

5. その他文教部会に関する事項



すべての県民が
安全で安心して
暮らせる地域社会の実現

雨の日も風の日も管内をパトロールする優しさや、悪に対峙していささかもひるむことのない強さ、そして科学技術を使いこなす高度な捜査力こそ、県民が兵庫県警に求めるものであり、同時に県民は県警察と自発的に連携・協力をして初めて、安全安心な地域社会は実現される。

この期待に応えるべく、県警察による総合的な犯罪抑止対策の推進と、民間防犯団体等との連携による地域における見守り力の強化により、刑法犯の認知件数は減少を続けており、今後も、犯罪情勢・社会構造の変化や多様化する県民の要望に迅速・的確に対応していきます。特に、増加する特殊詐欺や新型コロナウイルス感染症に関連して懸念されるDVや虐待の増加への対策を推進し、治安に対する不安の解消、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組みます。

令和4年度重点項目

1. 重要凶悪事件に対する検挙活動の強化

迅速・的確な初動捜査による重要凶悪事件や連続発生事件の徹底検挙を図るとともに、防犯カメラ画像の解析やDNA型鑑定など科学捜査を推進します。

また、情報分析支援システム等を活用した犯罪関連情報の総合的な分析により、効果的・効率的な捜査を推進します。

2. 暴力団等組織犯罪対策の強化

指定暴力団六代目山口組、神戸山口組及び絆會の取締り強化と官民一体となった暴力団排除活動等による暴力団の壊滅に向けた総合対策を推進するほか、暴力団組織が関与する薬物・銃器犯罪対策や暴力団に属さない「準暴力団」、「外国人犯罪組織」等の壊滅に向けた対策を推進します。

警察部会調査研究課題

1. 県民の命に関わる事案及び相談に対する迅速適切な対応

- 児童虐待を始めストーカー・DV事案は、女性家庭センター、こども家庭センターや、民間シェル

ターなど関係機関と連携を強化し、認知した時点から迅速に対応し、被害者及び相談者の安全確保を最優先に考えた措置を的確に講じる。

2. 特殊詐欺対策等の推進

- 事案認知時等の初動対応や広報啓発活動、金融機関等と連携した水際対策のほか、AI技術を活用して、特殊詐欺の抑止・検挙対策をさらに推進する。
- 新型コロナウイルスに係る給付金等に関する詐欺の防止対策を推進する。

3. 県民に身近で不安を与える犯罪の未然防止に資する活動の推進

- 制服警察官のパトロールなど警察官の姿を見せる活動と地域住民による自主防犯活動の融合により、地域の犯罪情勢に即した効果的な防犯活動を推進する。
- 防犯カメラ等の積極的な設置の働きかけなど、防犯環境の整備充実を図る。
- AI技術を活用した犯罪捜査・防犯活動の高度化を推進する。
- 女性が気軽に相談できる環境整備を推進する。

4. サイバーセキュリティ対策の推進

- サイバー犯罪やサイバー攻撃といった深刻化す



るサイバー空間の脅威に対処するための高度な能力を有する人材の育成をはじめ、総合的なサイバーセキュリティ対策を推進する。

5. 少年の非行防止と健全育成に向けた取組の推進

- 少年犯罪の検挙・補導活動、児童ポルノ、大麻等違法薬物事犯等の取締り徹底、少年を取り巻く有害環境の浄化など、非行防止と健全育成に向けた総合対策を推進する。
- 少年のインターネット利用に起因する犯罪被害の防止に向けた取組を推進する。

6. 交通事故防止対策の総合的な推進

- 「ながらスマホ」の防止対策をはじめ、コロナ禍に対応した子供や高齢者、自転車利用者等への交通安全教育やあおり運転等の悪質・危険運転者対策の強化、運転免許取消等行政処分の実施などの総合的な対策を推進する。
- 交通安全施設等（信号機等）の重点的かつ効果的・効率的な整備を推進する。

7. テロ対策、大規模災害対策等の推進

- 関係機関等と連携し、水際対策、警戒警備等のテロ対策を推進する。
- 自然災害、事故災害等に迅速かつ的確に対処して県民の安全を守るため、危機管理能力の向上や大規模災害等諸対策を推進する。
- イベント等における雑踏警備に伴う合理的かつ効果的な装備の充実を推進する。
- 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会や2023年G7サミットなどが安全に開催されるよう、要人警護の体制づくりに努める。

8. 薬物対策の強化

- 薬物事犯の検挙人員は増加傾向にあり、その推移は深刻な状況であるため、徹底した取締りによる覚醒剤・大麻など違法薬物の供給の遮断と需要の根絶や市販薬の過剰摂取なども含めた、薬物乱用防止を推進する。
- 大麻事犯の検挙者のうち、30歳未満の検挙者が全体の7割を超えており、若年層に薬物の危険性・有害性を正しく認識してもらうための、薬物乱用防止に向けた取組を推進する。

9. 県民の理解と協力の確保

- 警察署協議会の的確な運営や積極的な情報公開や、民間の犯罪被害者等支援団体などと連携したきめ細かな被害者支援などを推進する。
- SNS等を有効に活用し、県民に親しみやすい情報発信を行う。

10. 警察施設等活動基盤の整備充実

- 時代の変化と新たな治安情勢への的確な対応に向けた警察組織の人的・物的基盤の整備を推進する。
- 交番等への防護板設置を進め、勤務する警察官の安全対策を強化する。
- 警察署等再編整備計画の、特に交番・駐在所の再編整備には、地域住民の声に十分配慮し理解を得るように努め、県下全体の治安維持の向上に寄与する取組とする。

11. その他警察部会に関する事項

兵庫県議会 自由民主党議員紹介

第125代議長
小西 隆紀
丹波篠山市

第130代副議長
水田 裕一郎
姫路市

播磨



長岡 壯壽
赤穂市、赤穂郡、佐用郡



富山 恵二
相生市



春名 哲夫
宍粟市



松井 重樹
たつの市及び揖保郡



水田 裕一郎
姫路市



大豊 康臣
加西市



藤本 百男
加東市



藤原 昭一
小野市



村岡 真夕子
三木市



山本 敏信
高砂市



松本 裕一
加古川市



岡 つよし
加古郡



北口 寛人
明石市

淡路



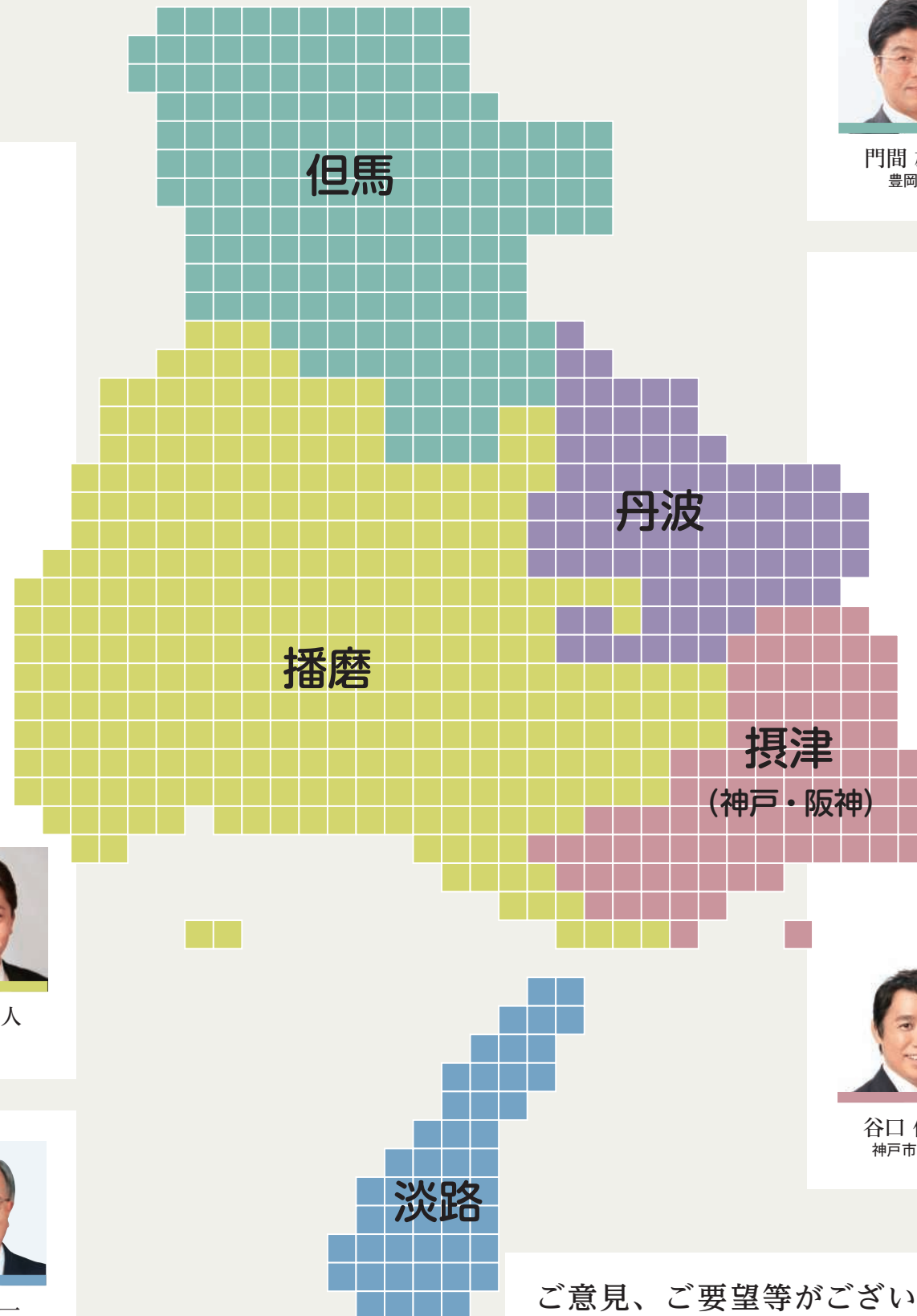
原 テツアキ
淡路市



浜田 知昭
洲本市



永田 秀一
南あわじ市



但馬



門間 雄司
豊岡市



藤田 孝夫
養父市及び朝来市

丹波



小西 隆紀
丹波篠山市

摂津



関口 正人
三田市



大前 はるよ
西宮市



黒川 治
尼崎市



北川 泰寿
西宮市



福島 茂利
神戸市兵庫区



原 吉三
神戸市中央区



長瀬 たけし
神戸市東灘区



谷口 俊介
神戸市西区



吉岡 たけし
神戸市垂水区



伊藤 傑
神戸市須磨区



かわべ 宣宏
神戸市長田区

ご意見、ご要望等がございましたら、各地域の議員にお申し付けください。